

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第10期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	株式会社ジモティー
【英訳名】	Jimoty, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 加藤 貴博
【本店の所在の場所】	東京都品川区西五反田一丁目30番2号
【電話番号】	03-6303-9258
【事務連絡者氏名】	取締役 コーポレートグループマネージャー 岩崎 優一
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田一丁目30番2号
【電話番号】	03-6303-9258
【事務連絡者氏名】	取締役 コーポレートグループマネージャー 岩崎 優一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第9期 第3四半期累計期間	第10期 第3四半期累計期間	第9期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年9月30日	自2020年1月1日 至2020年9月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	935,892	1,015,336	1,263,427
経常利益 (千円)	152,252	292,101	74,846
四半期(当期)純利益 (千円)	129,589	245,416	96,304
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	222,569	308,657	222,569
発行済株式総数 (千株)	5,641	5,996	5,641
純資産額 (千円)	781,665	1,387,186	748,347
総資産額 (千円)	959,689	1,567,025	952,835
1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	25.67	44.76	18.91
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	40.74	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.20	88.49	78.29

回次	第9期 第3四半期会計期間	第10期 第3四半期会計期間
会計期間	自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2020年7月1日 至2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	16.31	18.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
4. 第9期第3四半期累計期間及び第9期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
5. 当社は、2020年2月7日に東京証券取引所マザーズに上場したため、第10期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から第10期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
6. 1株当たり配当額については、配当を実施していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。
また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について、以下の追加すべき事項が生じています。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大について)

当社は、従業員等の安全確保を第一に、在宅勤務の適用・継続等、柔軟に事業を継続できる体制の整備に努めており、現時点で安定したサービス提供とその拡大を継続しております。

しかしながら、今後、新型コロナウイルス感染症拡大が更に深刻化、長期化し、想定できない事象が生じる場合には、景況感の悪化に伴う広告需要の減少等により、当社の財政状態及び経営成績に影響を受ける可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,467,529千円となり、前事業年度末に比べ601,089千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が588,284千円増加、前払費用が7,588千円増加したことによるものであります。固定資産は99,495千円となり、前事業年度末に比べ13,100千円増加いたしました。これは、有形固定資産が1,100千円増加、投資その他の資産が12,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,567,025千円となり、前事業年度末に比べ614,189千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は173,618千円となり、前事業年度末に比べ24,648千円減少いたしました。これは主に、買掛金が7,901千円増加、未払法人税等が29,838千円増加、流動負債の「その他」に含めて表示されている未払消費税等が21,886千円増加した一方で、未払金が87,801千円減少したことによるものであります。固定負債は6,220千円となり、前事業年度末から変動ありません。

この結果、負債合計は179,838千円となり、前事業年度末に比べ24,648千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,387,186千円となり、前事業年度末に比べ638,838千円増加いたしました。これは主に、資本金が86,087千円増加、資本剰余金が191,969千円増加、四半期純利益計上により利益剰余金が245,416千円増加した一方で、自己株式が117,168千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.5%（前事業年度末は78.3%）となりました。

(2) 経営成績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、このところ持ち直しの動きがみられております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されています。

日本の総広告費は、持続する緩やかな景気拡大に伴い、通年で6兆9,381億円（前年比106.2%）と前年を上回り、特にインターネット広告費は2兆1,048億円（前年比119.7%）と好調に推移したことが総広告費全体を押し上げる結果となりました（株式会社電通「2019年日本の広告費」）。

このような環境下、当社はクラシファイドサイト「ジモティー」を通して、地域の情報が幅広く集まるプラットフォームを提供することで、地域の情報を可視化し、地域の人とのマッチングを推進してまいりました。

当第3四半期累計期間においても、生活動態の変化により地域内情報の必要性が増大し、当社サービスをご利用いただく機会は継続して増加しております。

一方で、市況感の悪化により広告出稿を控えていた企業様も徐々に出稿を増やしている状況ではありますが、まだ十分な水準までは改善しておらず、広告単価の下落が継続している状況となっております。

このような環境下において、持続的なプラットフォームの成長のために、地域内のモノの譲り合いをより円滑に行える場所へと進化するべく、ユーザー利便性を向上させる付加機能の提供を開始し、検証を重ねて参りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,015,336千円（前年同期比8.5%増）、営業利益は292,978千円（同91.0%増）、経常利益は292,101千円（同91.9%増）、四半期純利益は245,416千円（同89.4%増）となりました。

なお、当社はクラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,996,365	5,996,365	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	5,996,365	5,996,365	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日 (注)	355,000	5,996,365	86,087	308,657	86,087	676,087

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 173,000	-	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお1単元の株式数は、100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,465,700	54,657	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお1単元の株式数は、100株であります。
単元未満株式	普通株式 2,665	-	-
発行済株式総数	5,641,365	-	-
総株主の議決権	-	54,657	-

(注)「単元未満株式」には当社所有の自己株式65株が含まれております。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社ジモティー	東京都品川区西五反田 1-30-2	173,000	-	173,000	3.07
計	-	173,000	-	173,000	3.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	643,850	1,232,135
売掛金	179,950	172,992
前渡金	15,535	15,535
前払費用	17,365	24,953
その他	9,737	21,912
流動資産合計	866,439	1,467,529
固定資産		
有形固定資産	7,747	8,847
投資その他の資産	78,648	90,648
固定資産合計	86,395	99,495
資産合計	952,835	1,567,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,902	10,804
未払金	97,546	9,745
未払費用	38,536	40,479
未払法人税等	32,285	62,123
前受金	22,085	24,944
その他	4,909	25,521
流動負債合計	198,267	173,618
固定負債		
資産除去債務	6,220	6,220
固定負債合計	6,220	6,220
負債合計	204,487	179,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,569	308,657
資本剰余金	2,036,007	2,227,976
利益剰余金	1,312,565	1,067,148
自己株式	199,999	82,831
株主資本合計	746,012	1,386,654
新株予約権	2,335	532
純資産合計	748,347	1,387,186
負債純資産合計	952,835	1,567,025

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	935,892	1,015,336
売上原価	100,503	102,462
売上総利益	835,388	912,873
販売費及び一般管理費	681,998	619,895
営業利益	153,389	292,978
営業外収益		
受取利息	3	7
新株予約権戻入益	182	10
雑収入	-	580
営業外収益合計	185	598
営業外費用		
株式交付費	1,323	602
上場関連費用	-	872
営業外費用合計	1,323	1,475
経常利益	152,252	292,101
税引前四半期純利益	152,252	292,101
法人税等	22,663	46,684
四半期純利益	129,589	245,416

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社では、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、現時点において入手可能な情報に基づき実施しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、当事業年度の会計上の見積りに重大な影響を与えるものではないと判断しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	2,123千円	2,190千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年4月25日付で、株式会社NTTドコモから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が189,000千円、資本準備金が189,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が222,569千円、資本準備金が590,000千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年2月7日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年2月6日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による自己株式の処分50,000株により、資本剰余金が22,000千円増加し、自己株式が24,000千円減少しております。また、2020年3月11日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当)による自己株式の処分190,600株により、資本剰余金が83,864千円増加し、自己株式が91,488千円減少しております。

また、当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ86,087千円増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間における新株予約権の行使による自己株式の処分を含めて、当第3四半期会計期間末において資本金が308,657千円、資本剰余金が2,227,976千円、自己株式が82,831千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	25.67円	44.76円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	129,589	245,416
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	129,589	245,416
普通株式の期中平均株式数(株)	5,047,777	5,483,338
(うち普通株式(株))	(2,884,735)	(5,483,338)
(うち普通株式と同等の株式:A種優先株式(株))	(875,265)	(-)
(うち普通株式と同等の株式:B種優先株式(株))	(1,115,469)	(-)
(うち普通株式と同等の株式:C種優先株式(株))	(172,308)	(-)
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円	40.74円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	541,028
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1. 当社は、2020年2月7日に東京証券取引所マザーズに上場したため、当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月13日

株式会社ジモティー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 栗栖 孝彰 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂井 知倫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジモティーの2020年1月1日から2020年12月31日までの第10期事業年度の第3四半期会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジモティーの2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。